

委任者の指図と受任者の権限 (一)

大塚 智見

第一章 課題設定

第一節 日本法の現況

第一款 裁判例

- 一 委任者の指図に違反した場合
- 二 委任者の指値に違反した場合
- 三 当初の契約条件に違反した場合
- 四 委任者の指図に従った場合
- 五 委任者の指図がなかった場合
- 六 小 括

第二款 起草過程

- 一 旧民法の起草過程
- 二 旧商法の起草過程
- 三 新民法の起草過程

四 新商法の起草過程

五 小 括

第三款 学 說

- 一 委託の範囲による裁量権限の制約
- 二 「委任の目的」による構造化
- 三 受任者債務の再定式化
- 四 小 括

第二節 本稿の構成

第一款 課題設定

第二款 検討方法(以上、本号)

第二章 フランス法

第三章 ドイツ法

第四章 委任者の指図と受任者の権限